

研究プロジェクト5 「宣教師関係資料研究」

大江 満

宣教師関係資料は、戦前まで立教学院の経営母体であった米国聖公会の伝道機関誌『スピリット・オブ・ミッシェンズ』(Spirit of Missions/ 1886-1939) とその後継誌『フォース』(Forth/ 1940-1959) が基幹資料となる。

特にスピリット・オブ・ミッシェンズには、幕末から昭和にいたる海外・国内の一般情報や、内外任地の伝道・教育・医療関連の記事が満載されている。ここに編集されている立教関連の記事は、立教大学の歴史にとっては貴重な情報源であり、米国聖公会遣日宣教師が来日した一八五九年から、後継誌『フォース』の終刊年である一九五九年までの一世紀を対象期間として、立教関係記事の集成を抄訳付で刊行することになった。二〇〇八年度から発刊され(第一巻・一八五九—一八八九年・第二巻・一八九〇—一九〇三年・第三巻・一九〇四—一九一四年・第四巻・一九一四—一九二四年・第五巻・一九二五—一九三九年)、今年度が最終巻に当たる

『フォース』(別巻・一九四〇—一九五九年)の刊行である。各巻は、口絵、まえがき、凡例、用語表記、解題、英文表題、抄訳目次、記事集成(抄訳)、英和記事表題、人名索引から構成され、原文記事は抄訳と対照できるように配置され、記事自体の注記とともに記事内の文章や用語にも脚注が付されている。

立教学院史資料センターでは、日本聖公会管区資料室所蔵の米国聖公会遣日宣教師書簡群(通称ジャパン・レコーズ/ Japan Records)のマイクロフィルムの複写版を、日本聖公会管区事務所と共有できることになり、この膨大な書簡群の目録作業を進めている。

さらに、一九〇〇年から一九四四年まで発行された日本聖公会機関誌『基督教週報』(一九四三年四月一〇日の八三巻七号より『基督教』と改題され、一九四四年二月一〇日の八四巻一号が終刊)のデジタル化と詳細な記事目録が完成し、資料センターのHP上で閲覧できるようになった。

二〇一三年五月に立教創立者ウィリアムズ資料(蔵書と直筆資料)が日本聖公会京都教区から移管されたため、その目録化を進め、現在デジタル撮影(研究者閲覧用)を行っている。来年度から選抜した主要資料を収載する図録の発行も企画している。全資料は、必要な修復保全後、中性紙箱に収納され、耐火室(場所未定)で永久保存の予定である。